

令和4年度 森林環境譲与税の用途について（新居浜市）

事業区分	事業名	事業総額（千円）		事業内容	実績	税導入の効果	
		(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税（千円）				(B)うち他の財源（千円）
公有林整備	別子山地区森林整備事業	51,649	15,948	35,701	新居浜市別子山地区内の市有林整備の実施（市有林の搬出間伐等実施に向けた森林作業道の開設）	森林作業道の開設延長：1,050m	別子山地区内の北側に有する市有林へ向けて、森林作業道を開設する。市有林到達後は、作業道の開設と並行して、搬出間伐等を実施し、間伐材を地域の木材加工所で活用することにより、地域における雇用創出と活性化に繋げることを目的とする。また適切な森林管理により、自然環境保全、水源涵養等の森林機能の発揮を図る。令和4年度は、森林作業道の開設（1,050m）を実施し、市有林からの搬出間伐を開始した。
森林・林業・木材普及活動等	誕生祝品贈呈事業	4,406	2,203	2,203	地元企業等と連携し、地産地消のオリジナル木製玩具を製作、誕生祝品として新生児にプレゼントした。	普及啓発イベント等 開催回数：12回 作成数：630個 配布数：747個	新居浜市ならではの地産地消のオリジナル木製玩具を製作し、新生児にプレゼントした。多くの市民に森（木）に囲まれて生活する環境・歴史を再認識してもらい、新生児747人に誕生祝い品を贈呈し、子どもが育つ環境の中に木材を取り入れるきっかけづくりとなることで、木材利用促進への普及啓発につなげる。
意向調査、集積計画等作成	森林経営管理事業	959	959	0	森林経営管理制度に基づき森林の現地調査を実施した。	現地調査面積：約11ha	山林所有者に対して意向調査を実施し、市に管理委託を希望する山林について、境界点の測量、山林内の立木の樹種・林齢、本数等の現地調査を実施した。
管理施業（切り捨て間伐）	森林経営管理事業	1,963	1,963	0	森林経営管理制度に基づく管理施業を実施した。	管理施業（切り捨て間伐）面積：約3ha	経営管理権集積計画を作成した森林について、管理施業（切り捨て間伐）を実施した。

令和4年度 森林環境譲与税の用途について（新居浜市）

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果
		(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）			
林道施設の整備	林業施設長寿命化事業	3,388	3,388	0	林道橋改修工事実施設計書を作成した。	林道橋工事設計1橋	林業施設等（林道橋等）の長寿命化およびライフサイクルコストの削減を図るために策定した「林道施設長寿命化計画」に基づき、施設改修等を実施するために工事の詳細設計を行う。
林道施設の整備	森林居住環境整備事業	6,000	6,000	0	林道大野山小又線の機能回復工事を実施した。	機能回復工事1か所	災害や老朽化により、林道の機能が十分発揮できず、森林整備ができない状況となっている林道について、機能回復工事を実施して車両の通行を可能とし森林整備を促す。
林道施設の整備	林道管理事業	1,345	1,345	0	加茂角野線環境整備業務委	除草4,309m 支障木伐採1,625m	森林を整備していく上で必要となる林道上の、支障木の剪定・伐採等を実施して環境を整備することで、効率的な森林整備を促進し、木材の生産活動の推進につなげていく。
基金積立	-	21,490	21,490	0	-	-	後年度に実施する森林整備事業等に充当するための積立。

- 新居浜市の別子山地区の森林面積は7,079haと総面積の約97%を森林が占めるなか、別子山地区の市有林(約1,600ha)の森林機能の向上と有効活用が求められている。
- 地域の北側に位置する市有林は、林道からの距離が遠く、急峻な地形であることから、適正な森林管理が滞りがちであるため、この市有林の森林整備の促進と木材資源の有効活用、雇用促進等による地域の活性化を図ることを目的に、別子山地区森林整備計画を策定し、令和元年度より事業を開始。
- 令和4年度は、市有林へ向けた森林作業道を新規開設。作業道が市有林へ到達後は、市有林内の作業道の開設及び搬出間伐を実施するとともに、間伐材を地域内の木材加工所において活用した。

□ 事業内容

森林作業道の開設

- ・市有林を搬出間伐するために、森林作業道の新規開設を実施。

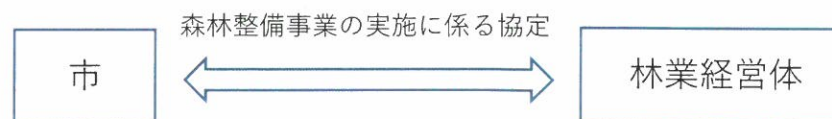
【事業費】51,649千円(うち譲与税15,948千円)

【実績】新規開設1,050m



□ 事業スキーム

別子山地区森林整備事業



□ 工夫・留意した点

- ・別子山地区に多くの森林を所有し、長年の管理実績がある林業経営体と事業実施に係る協定を締結し、協働で事業を実施。
- ・路網整備、搬出間伐等の実施による森林整備の促進と木材資源の有効活用により地域の活性化を図る。

□ 基礎データ

①令和4年度譲与額	39,626千円
②私有林人工林面積(※1)	7,209ha
③林野率(※2)	72.9%
④人口(※3)	115,938人
⑤林業就業者数(※4)	34人

※1、2:「2020農林業センサス」より、※3:「R2国勢調査」より

※4:「H27年国勢調査」より

- 新居浜市は別子銅山の開坑とともに栄え発展してきたまちであり、銅の採掘により伐採された山々が、明治期の植林事業により現在も青々とした姿を保っている森の自然・風景も、先人から受け継いだ大切な資産のひとつである。そこで本市では、市民に森や木々、新居浜市の歴史を身近に感じられるきっかけづくりとして、平成31年4月に「ウッドスタート宣言」を行い、生活の中に木を積極的に取り入れる取組を推進し、広く市民に普及啓発をすることを森林環境譲与税の活用方針の一つとしている。
- 令和4年度においては、地産地消のオリジナル木製玩具を製作し、誕生祝品として新生児にプレゼントする取組みで木材利用の普及啓発を行った。

## □ 事業内容

### 誕生祝品贈呈事業

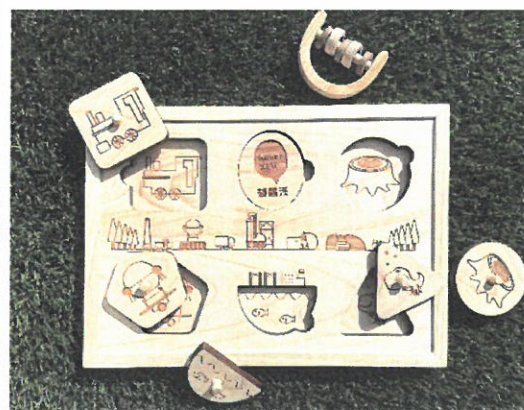
子育て環境の中に積極的に木を取り入れ、小さいころから木材製品に触れることを通じ、森林の大切さを考えるきっかけづくりとしてもらうため、地産地消のオリジナル木製玩具を製作し、誕生祝品として新生児に地元産材を活用した木製のパズルをプレゼントした。

【事業費】4,406千円（うち譲与税2,203千円）

【実績】作成数630（配布数747）



（1：製作過程）



（2：贈呈するパズル）

## □ 事業スキーム

誕生祝品贈呈事業

資材1次加工→2次加工→検品→納品→贈呈  
（新生児5か月健康相談時）

## □ 工夫・留意した点

- 新生児への木製玩具の贈呈は全国的に広がりを見せている「木育」の行動プランである「ウッドスタート宣言」により実施する事業である。
- 木製玩具は地元産の木材を使用し、地元企業が製作・加工している。

## □ 基礎データ

①令和4年度譲与額	39,626千円
②私有林人工林面積（※1）	7,209ha
③林野率（※2）	72.9%
④人口（※3）	115,938人
⑤林業就業者数（※4）	34人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より

※4：「H27年国勢調査」より